

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 高知県

本事業の担当部局名 子ども・福祉政策部子育て支援課

事業メニュー	結婚_妊娠_出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業							
区分	一般メニュー							
関連事業メニュー	3.1.2 ICT活用、官民連携等による結婚支援等の更なる推進のための調査研究							
個別事業名	高知県官民協働による少子化対策推進のための調査研究事業					新規/継続 (一般財源での 実施も含む)	継続	
実施期間	令和8年4月1日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	平成26年度			
総事業費(A)(円)	4,931,540	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	4,931,540			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	4,931,540							
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役員費	
	総事業費	0	0	888,712	104,400	60,000	39,360	
	対象経費支出予定額	0	0	888,712	104,400	60,000	39,360	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計	
	総事業費	3,695,078	143,990	0	0		4,931,540	
	対象経費支出予定額	3,695,078	143,990	0	0		4,931,540	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p><自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本県においては、少子化対策を「高知県元気な未来創造戦略(以下、「創造戦略」という。)の中に位置づけ、「若者の定着・増加」と「婚姻数の増加」による「出生数の増加」により、若年人口の減少傾向に、4、5年後までに歯止めをかけ、おおむね10年後には令和4年度の水準まで回復させることを目指す。</p> <p><本個別事業の位置付け> 創造戦略の「政策2 結婚の希望をかええる」の基本的方向として、出会いや結婚を後押しする「出会いの機会の創出」と「結婚支援の推進」に位置付け、施策として実施するにあたり、既存事業の影響や効果を再点検し、翌年度以降の効果的な事業の実施につなげる。</p>						
	番号	項目	内容					
	1	高知県若者応援産学官フォーラム出会い促進分科会の開催	産学官連携による協議の場である「高知県若者応援産学官フォーラム」の分科会として「出会い促進分科会」を開催する。様々な分野(青年、経済、労働、一次産業、子育て支援、保健・医療・福祉、移住)の委員による出会い・結婚支援に関する意見交換や、各団体が行う取組の共有、今後の取組等について協議する。(出会い促進分科会:参加者13人×4回=52人)					

個別事業の内容	2	<p>県民意識調査の実施</p> <p>少子化対策にかかる取組の効果検証を行うとともに「安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるような社会になっている」と思っている人の割合、「支援施策の認知度」などのKPIの現状値を把握する。</p> <p>把握した調査結果は、出会い促進分科会での取組検討資料とするとともに、ホームページにて公開する。また、調査結果についてはグラフを作成・分析するなどして、「高知県若者応援産学官フォーラム」に参画する団体等に共有する。さらに、応援団メールマガジン(「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」として登録している企業・団体の約1,400社)においても情報を共有するなど、高知県の現状を企業・団体のみならずにも理解いただけるように努める。</p> <p><調査概要> 調査配布数: 4000票 調査対象: 高知県内全域18歳以上39歳以下の県民4,000人 調査の方法: 郵送オンライン回答 設問数: 23問程度 設問項目: ○「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」等の環境についての意識 『安心して「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」ができる社会になっているか』(KPI) ○「結婚」「妊娠」「出産」「子育て」への支援についての意識 県事業の認知度 ○子育てについての意識 理想・現実を持ちたい子どもの人数、必要な子育て支援 ○ワークライフバランスについての意識等 働きながら子育てしやすい環境、女性が職場で活躍するために必要な環境</p>
	3	<p>若者らとの意見交換の実施</p> <p>高知県若者応援産学官フォーラム出会い促進分科会の取組として、県内の若い世代の考えを聞き、今後の県施策に役立てるための意見交換会を行う。</p> <p>令和7年度は「移住者が考える高知県の魅力」をテーマとし、県内の若者と知事等との意見交換を行った。令和8年度は、少子化対策としての「出会い・結婚」促進に向けて、分科会で意見交換テーマ・方向性等について協議を行う。</p> <p>高知県の少子化対策の施策に生きる当事者世代からの意見を引き出せるような意見交換になることを目指し、率直な意見聴取を行う場とする。</p>
<p><過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きながら子育てしやすい職場環境づくりを進めていくことが最も重要な課題である。 ・職場生活における男女平等意識について、「平等」の割合は、20年で10ポイント以上上昇しているが、依然として「男性が優遇されている」と感じる県民が最も多い。地域や職場に根深く残る固定的な性別役割分担意識が若者や女性の県外流出の一因である可能性があるため、すべての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会の実現に向けて、地域社会や職場の意識改革を協力を進める必要がある。 ・産学官による連携・協議の場として新たに設置した「高知県若者応援産学官フォーラム出会い促進分科会」は30代～40代の委員を中心として協議を行ってきたが、R8年度からは20代の若者世代を加え、より、当事者世代に沿った助言をいただく。また、保健・医療・福祉等の新たな分野を加え、各団体の取組について情報共有を行う。 ・少子化対策にかかる取組の効果検証やKPIの現状値を把握するとともに、出会いから結婚、子育てまでの切れ目のない支援を推進するための基礎資料とするため、調査事業を行う。結果については、県施策の少子化対策に関する事業の検証に役立てるとともに、高知県若者応援産学官フォーラムでも共有することで、各団体が地域や職場で少子化対策を推進する際の県の現状把握に役立てていただくとともに、官民協働で事業を運営する際の基礎資料として役立てる。 		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
		合計特殊出生率		%	1.64 (R9)
	安心して「結婚」「妊娠・出産」「子育て」ができる社会になっていると考える人の割合		%	50 (R9)	26.1 (R7)
	①理想的な子どもの人数②現実を持ちたい子どもの人数		人	双数値の上昇・ 双数値差の縮小 (R8)	①2.14 (R7) ②1.77 (R7)
	平均初婚年齢(夫・妻)		歳	年齢低下 (R8)	夫30.6歳 (R6) 妻29.5歳 (R6)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
		合計特殊出生率		1.25 (R6)	
		婚姻件数	件	2,071 (R6)	
	婚姻率		3.2 (R6)		
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	高知県若者応援産学官フォーラム出会い促進分科会	回	4 (R8年度)	4 (R7年度)
	②	県民意識調査実施数	人	4,000 (R8年度)	4,000 (R7年度)
	③	県民意識調査サンプル回収率	%	40 (R8年度)	34.8 (R7年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	-	-
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	③	結婚・妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	-	-
	④	関連施策の検討・改善につながった調査項目数	項目	5 (R8年度)	5 (R7年度)
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					